

日刊工業新聞

THE NIKKAN

KOGYO SHIMBUN

12月10日 木曜日

2020年(令和2年)

マイナス100℃ 40時間維持

ワクチン輸送用保冷剤

イーディーディー

ウズコロナ

【静岡】

イーディーディー

ー(静岡県沼津市、下田一喜社長、

Cを長時間保持できる

用ワクチン専用フリー

保冷剤「クライオパック」を開発した。同社

合、電源が失われても

「ク」を開発した。同社

ザーと組み合わせた場

055・9433・63

の新型コロナウイルス

維持できるといふ。新



保冷剤は30回程度
繰り返し使用でき
る

などの成分に「
ール」などを加え
た。30回程度繰り
返し使用できる。
消費税抜き価格
は1キタイプが5
000円。販売目
標は年間5億円。11日

型コロナウイルスワク
チンの供給で必須とさ
れる超低温下での輸送
問題解決につなげる。
同社は80度Cを維
持する超低温保冷剤を
開発済みだが、クライ
オパックでは超低温輸
送体制への貢献につな
げようと保冷剤を改
良。従来の塩化カルシ
ウム、塩化ナトリウム

に設立する新会社「コア
ドテクノ」を通じて販
売する。
受注拡大に備え、供
給体制を強化するた
め、本社敷地内に20
22年春稼働をめどに
新工場を建設する。延
べ床面積約900平方
メートルの規模で、投資額は
約2億円の計画。

同社はすでにワクチ
ン専用には120度C
を実現した超低温フリ
ーザーを開発済み。80
度Cを維持する従来
の超低温保冷剤と組み
合わせると、電源喪失
時に80度C以下を26
時間以上保持できる。

このフリーザーの引
き合いが、新型コロナウイルス
用ワクチンの供給が始
まり急増。同社は21年
5月期に売上高8億
10億円を見込み、超低
温機器開発の技術を応
用して事業を拡大して
いる。さらに23年5月
期には21年5月期予想
の10倍に迫る同100
億円を視野に入れ、コ
ロナ禍にあっても持続
的成長を見込む。